

令和4年第3回定例会一般質問通告事項

6 月 15 日	巻 幡 伸 一 議 員 ( 尾 道 の 会 )	質問方式：一問一答方式
	<p>1 ものづくり企業がジャンプアップする支援について</p> <p>(1) 企業の業績を高め、成長させるテーマに対して、公的の支援サポートをワンストップでスピーディーに応えられる体制を強化することが求められますが、可能でしょうか</p> <p>(2) その支援内容を私なりに例を挙げますと、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路を開拓したい（ビジネスチャンス）</li> <li>・資金を調達したい（融資制度、公・民）</li> <li>・人材確保をしたい（交流会、説明会）</li> <li>・技術課題を解決したい（技術センター・研究所）</li> <li>・経営全般に関する相談（経営相談室）</li> <li>・成長産業分野に進出したい</li> <li>・クリエイティブ産業への進出や協働したい</li> <li>・関連した補助金</li> <li>・ウェブマッチングサイト</li> <li>・工場用地</li> </ul> <p>その他も限りなく想定され、企業が持続して事業展開できる応援が望まれますが、見解を聴かせてください</p> <p>2 企業誘致、企業立地について</p> <p>(1) 総合計画の目標達成のために最重要な施策でもあります、企業誘致と企業立地の計画や動向は現在どの様になっていますか</p> <p>(2) 企業誘致の成功に有効な推進策を求められますがご所見を伺います</p> <p>(3) 広島県の「広島へ来てくださる企業に最大で2億円のサポート」と銘打たれたサイトの申し込みは、2021年2月で終了しましたが、尾道関係はいかがでしたか</p> <p>コロナ感染拡大によって企業移転のニーズも高まり、人や企業を地方へ分散させています。ビジネス創出や地方活性化への動きを、我々も掴まねばならないと強く感じます。お考えをお尋ねします</p>	

6 月 15 日	<p>3 ゼロカーボンシティ（二酸化炭素をゼロ）推進について</p> <p>(1) 国の地方財政計画で、2022 年度から「公共施設の脱炭素化」が追加され、2025 年度まで地方財政措置が受けられるようになりました。</p> <p>各自治体で、公共施設での再生可能エネルギー設備の設置も広がっていますが、本市での状況を伺います</p> <p>(2) 令和 2 年に本市は「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。尾道市では沿岸域の人工干潟や藻場の CO<sub>2</sub> 吸収量をクレジット化し、CO<sub>2</sub> 吸収源の拡大や海の環境学習などを予定されていますが、実施への計画はどの様になりますか。</p> <p>また、この制度の仕組みと併せていかなるようなメリットが見込めるのか、お尋ねします</p>
-------------------	---